NIPPON SEIKI

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算補足資料

日本精機株式会社（ 証券コード：7287 ）

2026年11月11日

2027年3月期 中間期 業績ハイライト

2027年3月期 中間期 実績

ヘッドアップディスプレイの販売増加および二輪車用計器の販売堅調等により増収・増益

1. 売上収益 1,712億円（前年同期比 +9.6%） 営業利益 61億円（前年同期比 +16.5%）

- HUDの販売増加、ITソリューション・自動車販売の増加に、為替の円安も増収に寄与
- 二輪車用計器は、アセアンを中心に引き続き販売堅調
- 営業利益は、二輪車用計器等の増収効果などにより増益

2. 通期計画に対する進捗率

- 売上収益 53.5% 営業利益 43.7% 親会社の所有者に帰属する当期利益 34.7%

3. 中間配当は45円で決定（期初計画通り）

2027年3月期 業績予想

2027年3月期 通期業績予想は修正なし

1. 通期業績予想は修正なし

- 売上収益 320,000百万円 営業利益 14,000百万円 親会社の所有者に帰属する当期利益 10,000百万円
- 東洋電装の完全子会社化による影響は精査中のため、業績予想には未反映（影響額が判明次第、速やかに開示）
- 期末配当は45円を予定し、年間配当は90円を予定（前期より年間10円増配）

NIPPON SEIKI

2027年3月期 中間期 連結業績

単位:百万円	第2四半期(3か月)			累計(6か月)			期初計画	
	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	前年同期比	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年同期比	2027年3月期	達成率
売上収益	80,018	**87,998**	+10.0%	156,242	**171,250**	+9.6%	320,000	53.5%
売上総利益	12,439	**12,706**	+2.1%	22,676	**24,358**	+7.4%	-	-
売上総利益率	15.5%	**14.4%**	-	14.5%	**14.2%**	-	-	-
営業利益	3,725	**3,923**	+5.3%	5,247	**6,114**	+16.5%	14,000	43.7%
営業利益率	4.7%	**4.5%**	-	3.4%	**3.6%**	-	4.4%	-
税引前四半期/当期利益	4,287	**3,019**	-29.6%	6,163	**6,225**	+1.0%	-	-
親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益	3,033	**1,951**	-35.7%	3,735	**3,468**	-7.1%	10,000	34.7%

為替:1ドル＝159.41円（前期:146.02円）

NIPPON SEIKI

2027年3月期 中間期 業績（事業セグメント・地域別）

事業セグメント別

単位：百万円

		売上収益			営業利益		
		2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年同期比	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年同期比
車載部品	四輪車用計器	81,832	**89,420**	+9.3%	-968	**-1,007**	-
	二輪車用計器	41,351	**44,507**	+7.6%	4,875	**5,367**	+10.1%
	汎用計器・EMS	5,083	**5,705**	+12.2%	271	**130**	-52.1%
民生部品		6,450	**6,495**	+0.7%	-233	**-464**	-
自動車販売		12,669	**13,766**	+8.7%	508	**687**	+35.2%
ITソリューション		3,047	**4,461**	+46.4%	365	**593**	+62.3%
その他		5,807	**6,893**	+18.7%	608	**758**	+24.7%

地域別

単位：百万円

	売上収益			営業利益		
	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年同期比	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年同期比
日本	57,512	**64,492**	+12.1%	940	**465**	-50.5%
米州	43,304	**45,823**	+5.8%	2,654	**2,648**	-0.2%
欧州	13,315	**16,074**	+20.7%	-2,708	**-2,264**	-
アジア	42,110	**44,860**	+6.5%	4,540	**5,215**	+14.9%

NIPPON SEIKI

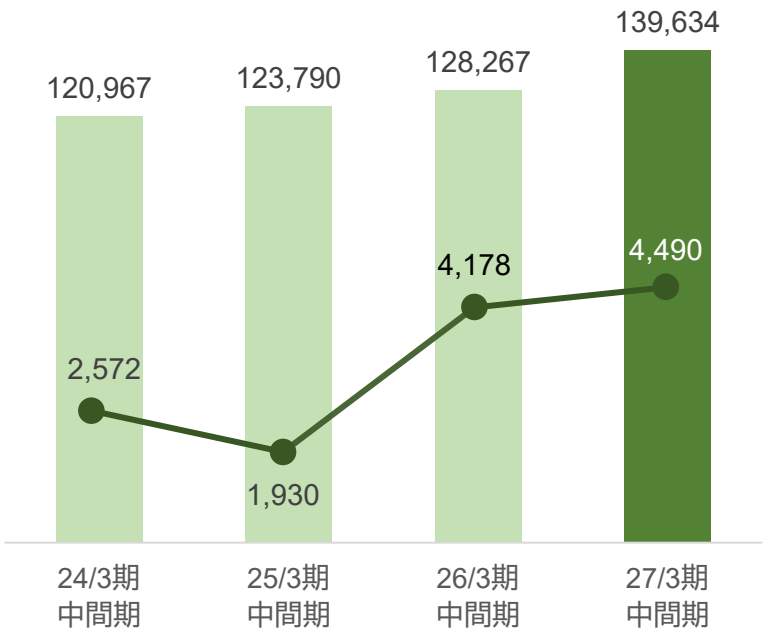
事業セグメント別決算概要 1

*24/3期中間期および25/3期中間期は、当期のセグメント変更を遡及適用していない参考値

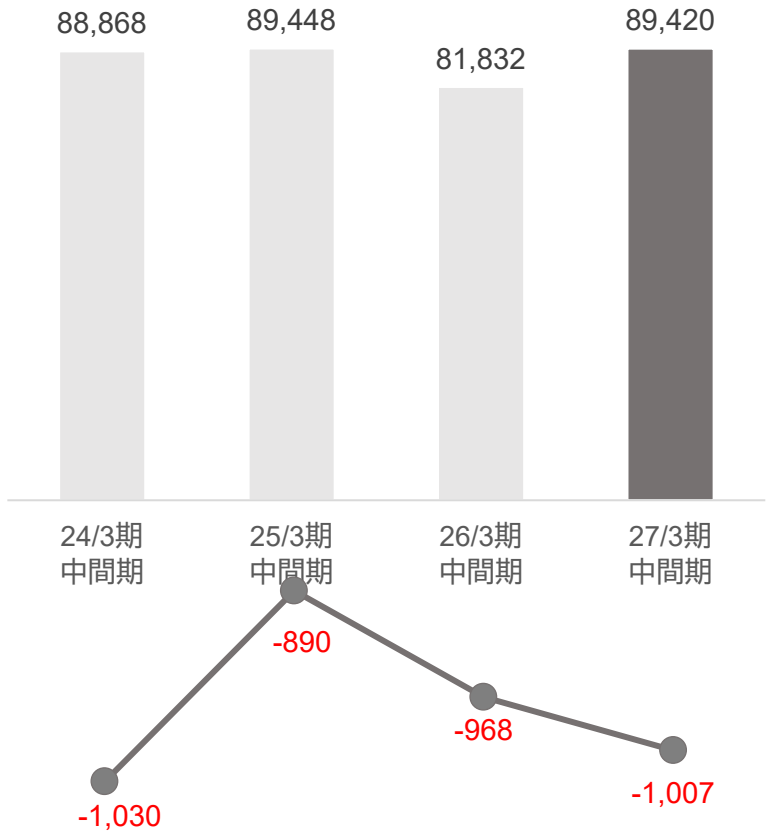
- 四輪車用計器：HUDの販売増加により増収となるも、セールスミックス悪化や一時的な費用負担の影響により減益
- 二輪車用計器：アセアンを中心に需要が堅調に推移し、増収増益

(単位：百万円)

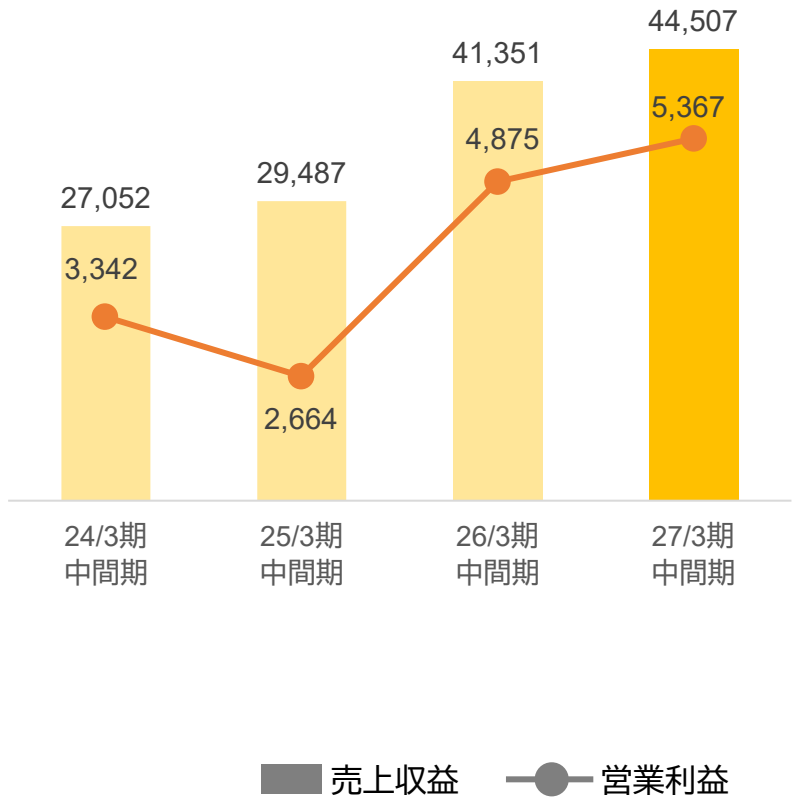
車載部品*



四輪車用計器*



二輪車用計器*

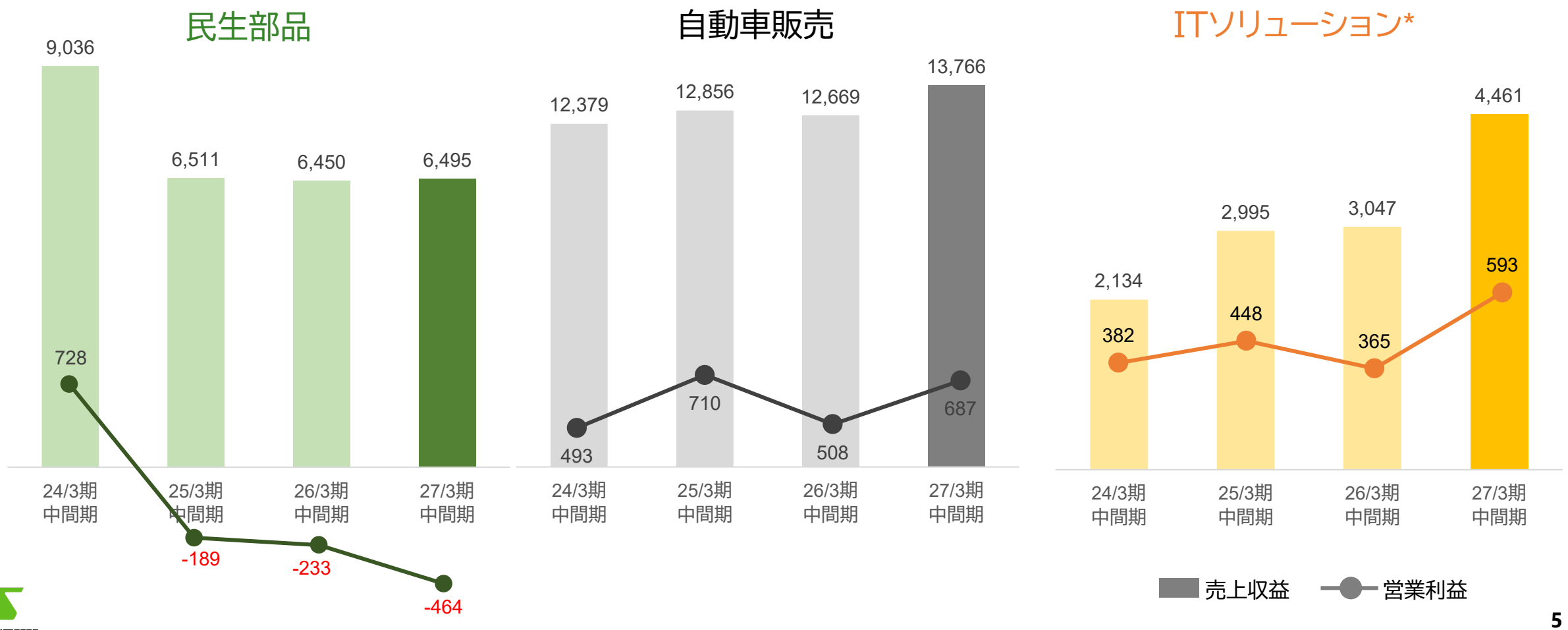


事業セグメント別決算概要 2

*24/3期中間期および25/3期中間期は、当期のセグメント変更を遡及適用していない参考値

- 民生部品：空調・住宅機器コントローラー等の販売は横ばい、円安による製品輸入コストの増加が響き、減益
- 自動車販売：新車・中古車の販売増加が寄与し、増収増益
- ITソリューション：地方自治体向けの売上増加により、増収増益

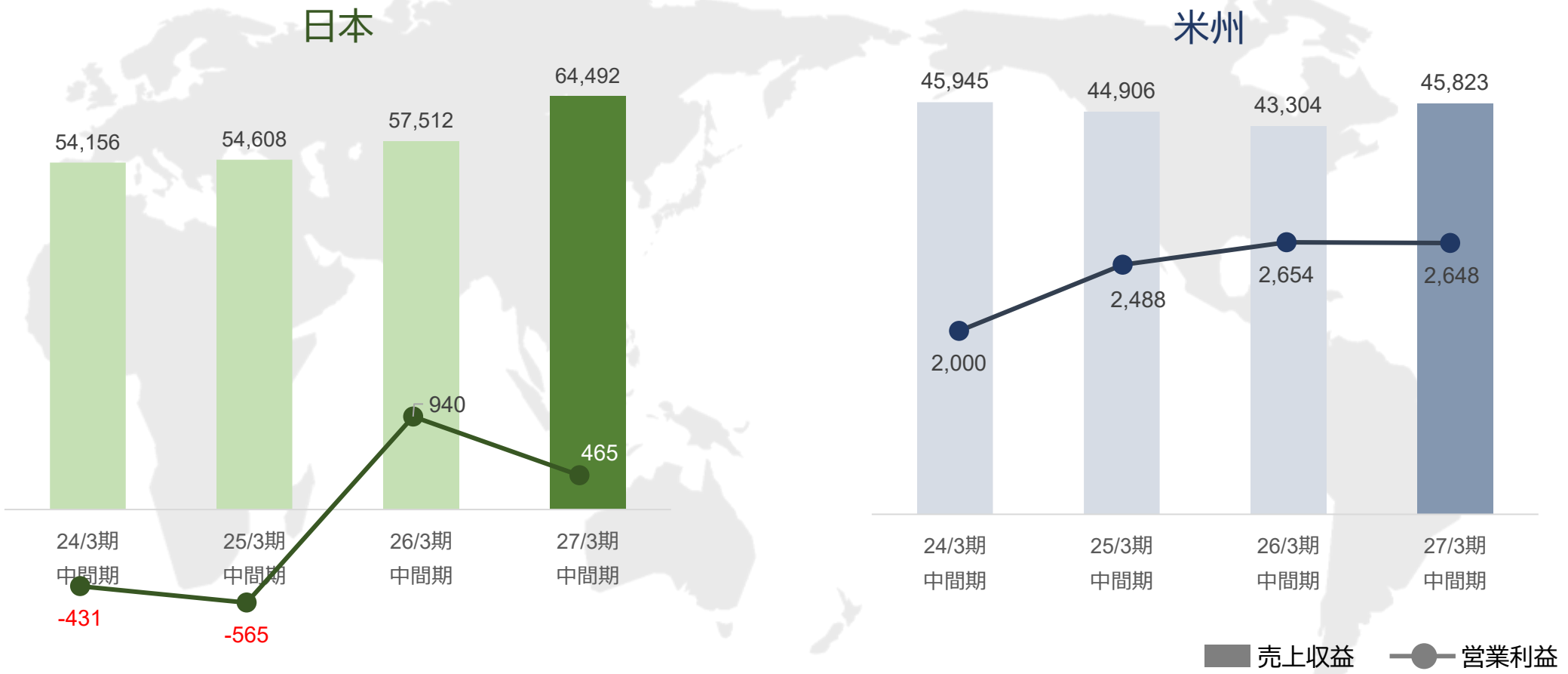
（単位：百万円）



地域別決算概要 1

- 日本：新機種の立上げに伴う販売増加により増収となるも、関係会社向け部品販売の減少等により減益
- 米州：北米向け四輪車用計器/HUDの販売減少影響があったものの、原価低減の推進により利益は前期並みを維持

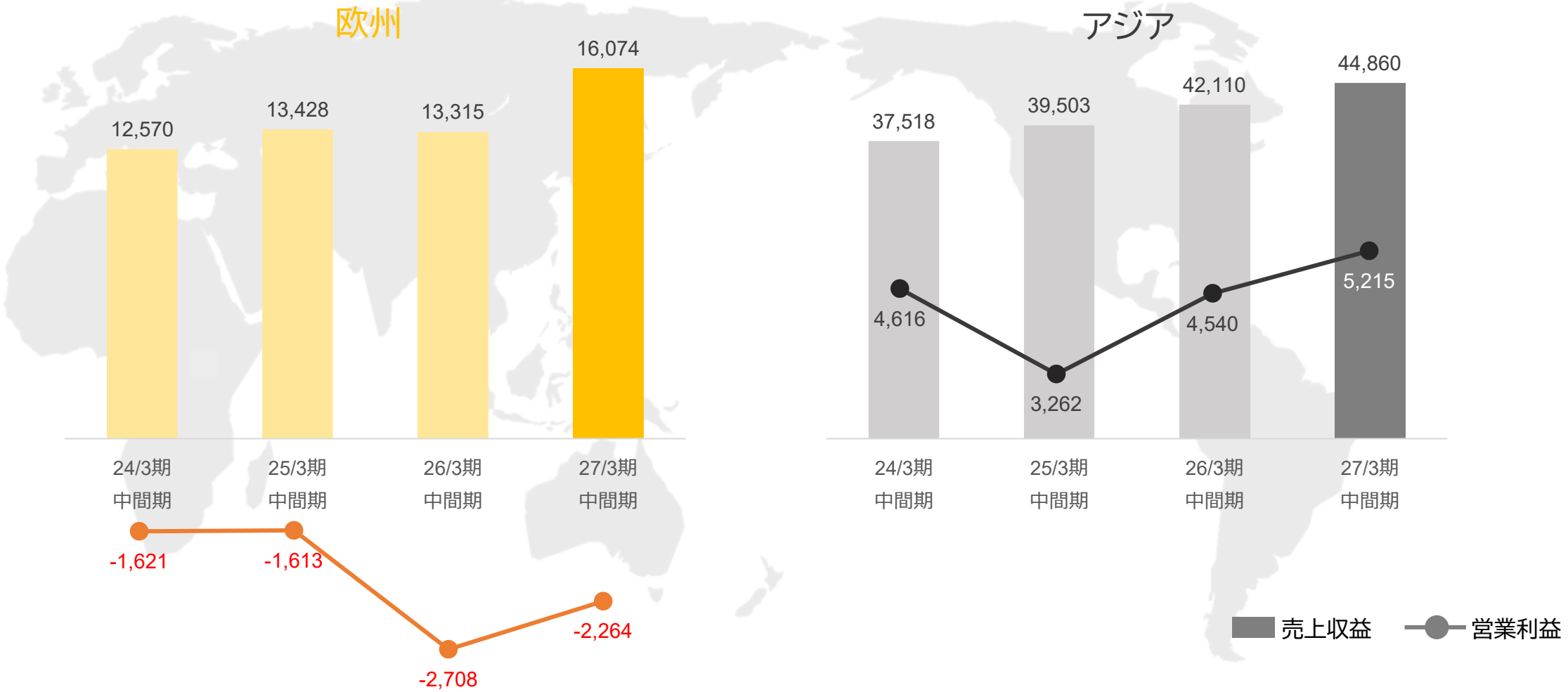
(単位：百万円)



地域別決算概要 2

- 欧州　：前期同様の一時費用負担があったものの、HUDの販売増加等により赤字幅が縮小
- アジア：中国における販売減少を、アセアン・インドでの二輪車用計器の販売増加がカバーし、増収増益

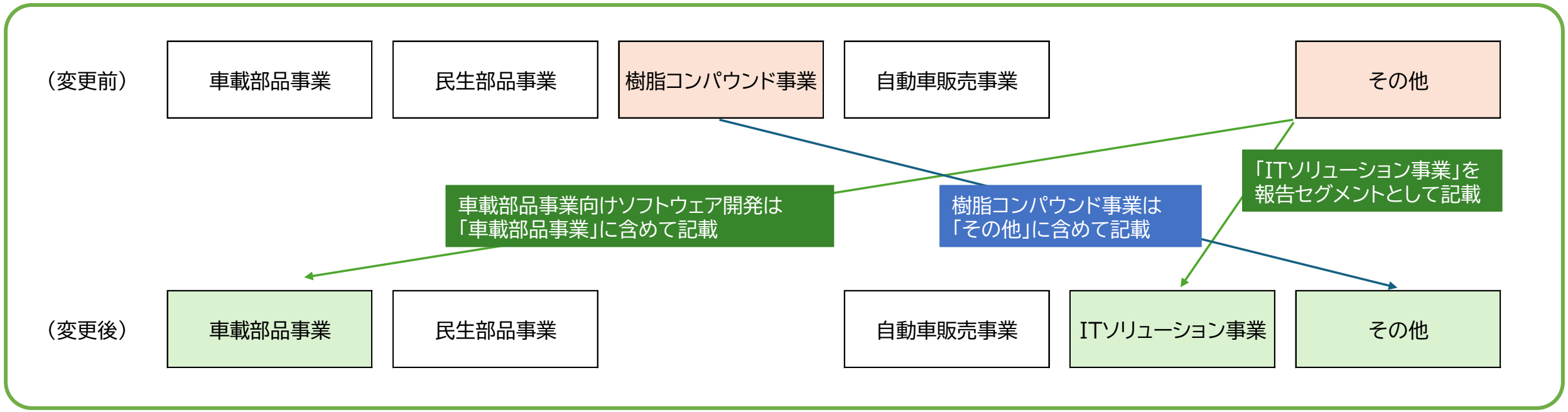
（単位：百万円）



APPENDIX：セグメント情報等（2026年8月8日 第1四半期決算補足資料より再掲）

- 当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含めていた「ITソリューション事業」を報告セグメントとして記載
- 「その他」に含めていた車載部品事業向けソフトウェア開発を「車載部品事業」に含めて記載
- 報告セグメントとして記載していた「樹脂コンパウンド事業」については、「その他」に含めて記載
- 前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載

報告セグメントの区分変更



ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。